奈良まほろば館新拠点整備事業

○現在の奈良まほろば館が立地する日本橋エリアの再開発事業に伴い、メディアや旅行エージェントが多数立地する**東京新橋の東側エリアに移転して新拠点を整備。**

○**本県の観光、食、農産物、伝統工芸などの多様な魅力を一体的に発信**するため、物販・レストラン・イベント・観光案内機能を備えた**総合的な情報発信拠点として整備。**

○首都圏マーケットや顧客ニーズの収集を通じて**県内の埋もれた商品を発掘、売れる商品づくりを展開**し、県産品の流通・販売拡大を図る。

奈良まほろば館新拠点

項　目		内　容
機能	1階（物販・観光案内）	県産農産物、地場産品、伝統工芸、奈良の木製品などの発掘、販売 出店ブースを設置しチャレンジ販売の実施など
	2階（レストラン）	奈良県産食材を活用した料理の提供
	2階（多目的スペース）	歴史文化講座、商談会、県プレス発表など
	2階（事務所）	執務スペース
	面積	811．07㎡ （物販246㎡　レストラン250㎡　イベントスペース124㎡）

【運用開始（予定）】

2021年（R3年）7月

【運営事業者】

ならのことなら共同企業体

※物販・レストランを一体運営

新橋・銀座エリアには自治体アンテナショップが集積

＜物販スペース（イメージ）＞

＜レストラン（イメージ）＞

＜新拠点正面入口（イメージ）＞